

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		11 04 05	中期総合計画主要施策番号		5-08	担当課	部・課	建設部 道路建設課	
事業名		高規格幹線道路建設促進事務費					内線	3415	
							E-mail	michiken@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	国土交通省等関係機関と連携を図りながら、用地買収を実施し、県内高規格幹線道路の建設促進を図る。							
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 高規格幹線道路建設により影響を受ける地域・集落は、用地提供や地域のコミュニケーション確保等についての的確、詳細な情報を求めている。							
		【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 高規格幹線道路の用地確保のためには、技術知識があり、地域状況に詳しい県の支援が必要である。							
		【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 高規格幹線道路の用地、補償業務を国土交通省から県が受託し、高規格幹線道路の用地確保を円滑に推進する必要がある。							
	事業内容	・啓発用パンフレットの作成 ・中部横断自動車道の整備促進(国土交通省からの受託による用地買収の実施)							
実施期間	S44 ~		根拠法令等	県組織規則附則第3条、高速道の用地取得の委託に関する基本要綱					
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	高規格幹線道路の用地を円滑に確保し、高規格幹線道路の建設促進を図る。		佐久～八千穂間の用地買収の進捗を図る。 H22供用予定の佐久～佐久南間については、用地買収率を100%とする。			H20年度末の用地取得率を、佐久～佐久南間で0.6%上げて、99.9%とした。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	24,474	20,893	15,863	国庫・県単 県単		
	決 算 額 (B)		千円	19,160	11,910		実施方法 直接・委託		
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	2,060	1,090	2,173	歳出節別内訳等		
	概 算 人件費	従事する職員数	人	4.00	4.00	4.00	賃金3,519 需用費961 委託料3,824 等 (単位: 千円)		
	概算人件費 (C)		千円	28,560	28,596	28,596			
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	47,720	40,506	44,459				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	中部横断自動車道用地取得進捗率(佐久～佐久南間)		%	99.3	99.9	100			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・高規格幹線道路の整備を促進することは、地域経済の活性化や県境を越えた地域交流等果たす役割は重要である。 ・県としても高規格幹線道路の有機的な連携により、高速交通ネットワーク化を進めていく必要がある。 ・業務量に見合う人員を増減し効率化を図っている。 ・均衡ある高規格幹線道路が整備されることにより、地域経済の活性化、地域間の格差是正につながる。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括		高規格幹線道路の建設は、地元のみならず広域的な連携のためにも実施する必要がある、寄与度は高い。県内の高規格幹線道路網を早期完成させるために、国土交通省等関係機関と連携を図りながら、引き続き整備を推進する。						